

MAZDA



2026年6月23日

「MAZDA CX-5」の受注が好調

—発売後約1ヵ月時点での累計受注台数が10,000台超え—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、2026年5月21日に発売した新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-5」の国内受注台数が、6月21日時点で、10,000台を超えたことを本日発表しました。これは、月間販売計画2,000台の5倍を超える受注実績です。



MAZDA CX-5 「L」

新型「CX-5」は、開発コンセプト「新世代エモーショナル・デイリーコンフォート」のもと、お客さま一人ひとりの「したい」という想いに真摯に向き合って開発しました。従来モデルの魅力を継承・深化させながら、タッチパネル式大型センターディスプレイを採用するとともに、スポーティなプロポーションと快適な居住性の両立、軽やかな走行性能の実現、安全性能のさらなる進化を図っています。日常からレジャーまで幅広いシーンにおいて、お客さまの多様なライフスタイルに寄り添った1台です。

顧客層は若い方から年配の方まで幅広く、多くのお客さまにご好評いただいています。特にユーティリティ性能に関する評価が高く、「後部座席の空間が広くなり快適になった」、「車中泊も視野に入れられる」、「ドアの開閉が広く、チャイルドシートの乗せおろしが楽になった」、「大型ディスプレイと最新のHMI(ヒューマン・マシン・インターフェイス)によって、車内での時間が、快適、充実する」などのご意見をいただいています。

グレード別の受注構成比は、上位グレードの「L」が65%、中位グレードの「G」が32%、ベースグレードの「S」が3%となっています。内装では、オーセンティックでありながらモダンな雰囲気も感じられるスポーツタン内装が高い人気を集めており、「L」グレードの約4割を占めています。またボディカラーでは、マツダ独自の塗装技術「匠塗 TAKUMINURI」*1による特別塗装色「ロジウムホワイトプレミアムメタリック」*2が25%を占め、一番人気です。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感

動を創造し、「生きる歓び」をお届けしていくことを目指してまいります。

以 上

-
- *1: 熟練職人が手塗りしたような精緻で高品質な塗装を、量産ラインで実現するマツダの塗装技術。ロジウムホワイトプレミアムメタリックは、ソウルレッドクリスタルメタリック、マシーングレープレミアムメタリックに続く第3弾の塗装色。
 - *2: ロジウムホワイトプレミアムメタリックは特別塗装色のため、メーカー希望小売価格 55,000 円(消費税込み)高となります。